



上空から銅雀区を望む。建ち並ぶビルが印象的な近代都市



銅雀区はこんなところ

銅雀区は、ソウル市内を東西に流れる漢河かんこうの南、市の中心ソウル駅・南大門から地下鉄で約20〜30分に位置する人口40万人、面積16・35kmの区で、域内のほとんどを住宅が占めています。そのため、生活環境の向上に力を入れており、福祉サービスや教育はもちろん、環境にやさしい交通システムや近代的な通信システムの導入にも積極的です。また区内には、43万坪を誇る国立顕忠院クワンジュン（国立墓地）や名門校の崇実大学ソンシル校・中央大学校など、ソウルの重要施設もあります。



国立墓地の国立顕忠院